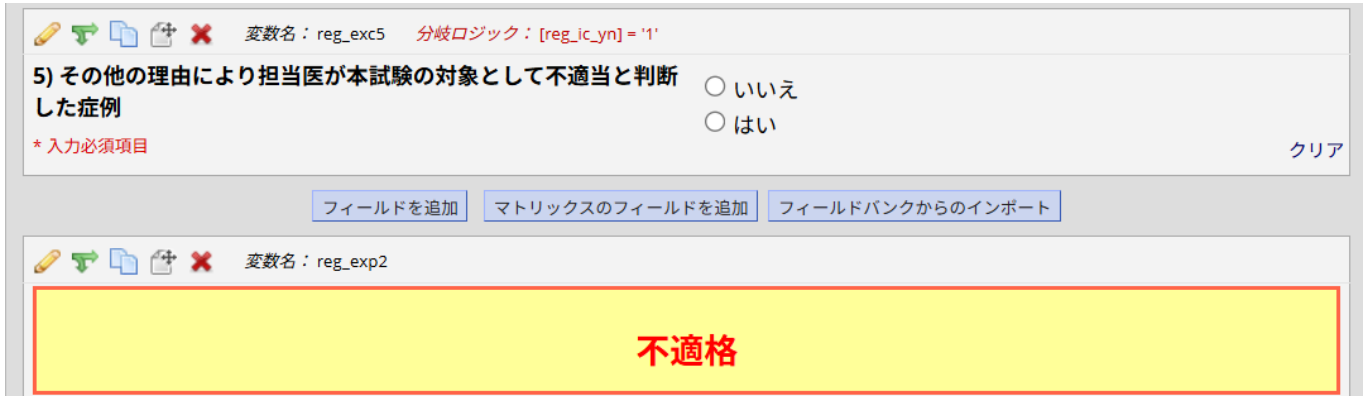
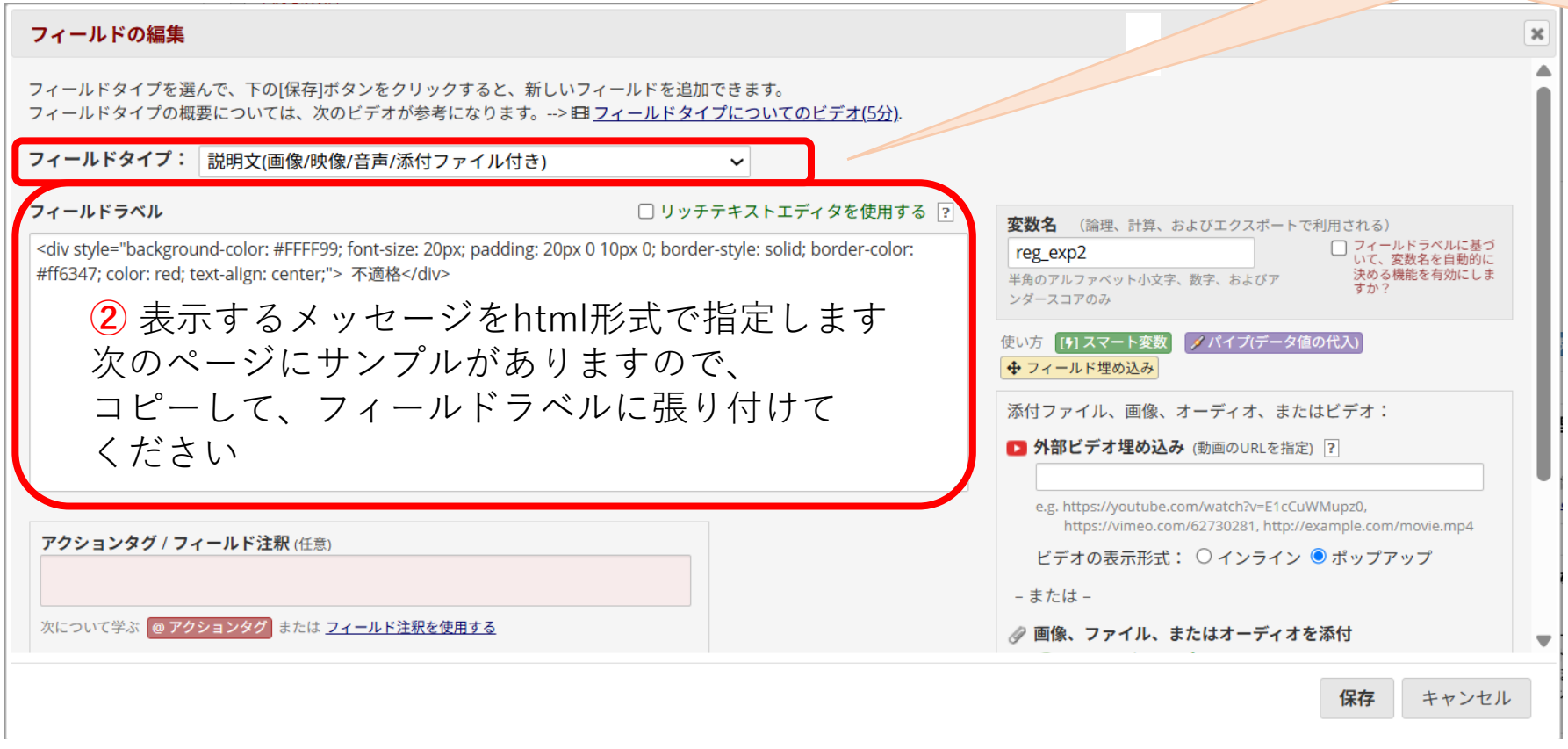
適格基準と除外基準から、症例が「適格」か「不適格」かをメッセージで表示する場合を考えます。以下の例のように、オンラインデザイナーで、最初にメッセージのフィールドを定義します





① フィールドタイプは説明文を選択

不適格

  不適格

表示がおかしくなる場合はこちらをコピーして下さい

ここに表示したいメッセージを設定してください

  不適格

分岐処理を利用して、特定の条件を満たした場合に、メッセージを表示するように分岐ロジックを構成します。今回の例では、適格条件を全て満たす、除外基準を全て満たさない、同意取得日に日付が入力されている、入力された日付が未来日でない、という条件を全て満たす場合に、「適格」というメッセージを表示するとします

変数名	フィールドラベル
ic_date	同意取得日*1
reg_inc1	選択基準1(ラジオボタン)
reg_inc2	選択基準2
reg_exc1	除外基準1
reg_exc2	除外基準2
exp1	メッセージ

左記の表のようなフィールド定義があるとします。
この場合、メッセージを表示する条件は、以下の通りです

同意取得日が空白でない かつ 同意取得日が未来日でない
かつ 選択基準１で「はい」が選択されている
かつ 選択基準２で「はい」が選択されている
かつ 除外基準１で「いいえ」が選択されている
かつ 除外基準２で「いいえ」が選択されている

注1) 同意取得日は、同じフォームまたは、同じイベント内の別のフォームにあるとします

参考

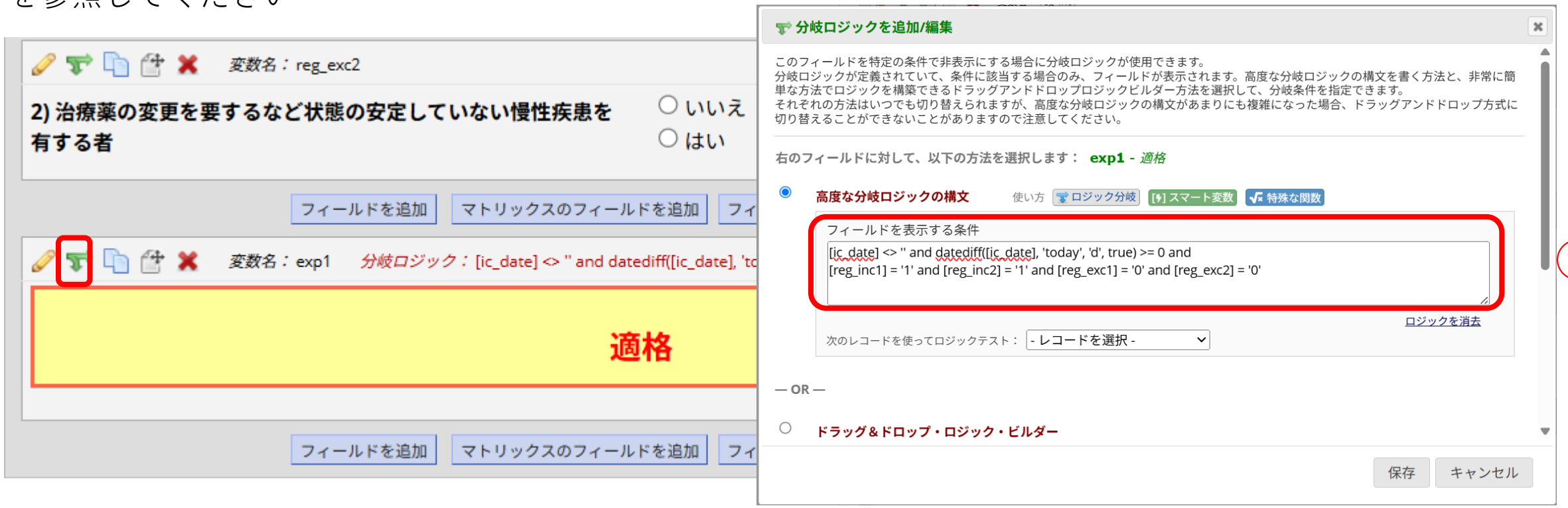
不適格のメッセージを表示する条件を考えてみましょう
☞ 同意取得日が空白である または 同意取得日が未来日である
または 選択基準１で「いいえ」が選択されている
または 選択基準２で「いいえ」が選択されている
または 除外基準１で「はい」が選択されている
または 除外基準２で「はい」が選択されている

分岐ロジックの式（ロジックエディタで編集します）

[ic_date] <> ‘’ and **datediff**([ic_date], 'today', 'd', true) >= 0 and [reg_inc1] = '1’ and [reg_inc2] = '1’ and [reg_exc1] = '0’ and [reg_exc2] = '0'

注2) **datediff**は、ロジックエディタ内の 特殊な関数 を開いて参照してください

☞ 分岐ロジックの設定の詳細は、REDCapポータルの
参考資料 > Q&A 内の「条件による分岐処理の記述法を教えてください。」
を参照してください



ロジックエディタ

下のテキストボックスを使って、ロジック、計算、アクションタグなどを構成してください。スペースが必要な場合は、「Fullscreen Mode」ボタンをクリックすると、テキストボックスが拡大されます。作業が終わったら、「Update」ボタンをクリックして、エディターウィンドウを最小化します。

使用方法を学ぶ [ƒ] スマート変数 √x 特殊な関数 @ アクションタグ or open the コードブック

```
[ic_date] <> '' and datediff([ic_date], 'today', 'd', true) >= 0 and
[reg_inc1] = '1' and [reg_inc2] = '1' and [reg_exc1] = '0' and [reg_exc2] = '0'
```

③

フルスクリーンモード　✔エディタの更新と終了　✖キャンセル